ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

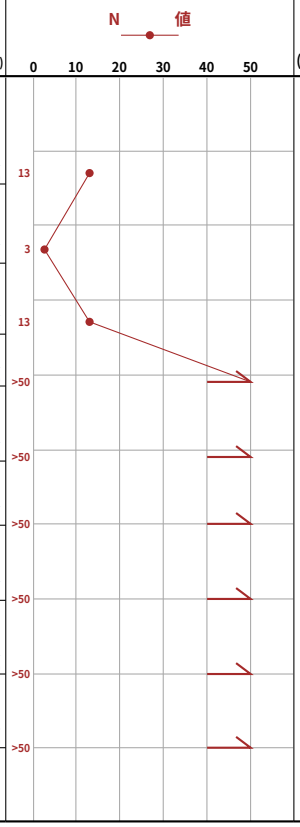
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-2(測点No.12+8/L2.5)	調査位置				北　緯	36 ° 49 ' 47.6500 "
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-01-18 ～ 2008-01-21	東　経	139 ° 42 ' 54.0100 "
調 査 業 者 名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	388.05 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 3.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総 掘 進 長	9.00 m								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	386.15	1.90	1.90		礫混じり砂質シルト (MS-G)	暗茶褐		硬い	河床堆積物 含水比下～中位　粘性下位 所々に径φ10～40mmの礫混入 部分的に礫分多い部位あり 1.50m付近より礫の混入少ない		
2	385.25	0.90	2.80		シルト (M)	暗褐		軟らかい	含水比下～中位　粘性下位 2.70m付近より砂分混入		
3	384.60	0.65	3.45		砂 (S)	暗茶	中くらい		細～中砂 細粒土分多い 2.80m付近コア長50mm程度の粗石混入		
4	382.05	2.55	6.00		粗石混じり砂礫 (GS)	暗灰褐～暗灰	非常に密な		孔壁の自立性やや低い 径φ10～50mmの亜円・亜角礫主体 マトリックスは中～粗砂主体 所々にコア長50～70mm程度の粗石混入 3.80m付近コア長200mm程度の巨石混入 5.20m付近より粗石密集(コア長50～100mm程度) 孔壁の自立性やや低い		
9	379.05	3.00	9.00		流紋岩 (Ry)	青灰			全体的にやや凝灰質を呈す コアは長柱状で200～400mm主体 部分的に50～100mm程度の短柱状コアあり コアは比較的新鮮で希に弱風化し灰褐色を帯びる部位あり 希に水平クラックがみられる クラック面は風化し暗褐色を呈す ダイヤモンドビットで掘削可能 コア採取率は100% RQDは60～80%(最大長500mm) 岩はＣＨクラスと判定	CH	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	6	3	13／30	13
1.45					
2.15	2／15	1／20		3／35	3
2.50					
3.15	4	4	5	13／30	13
3.45					
4.05	50			50／10	>50
4.15					
5.05	50			50／10	>50
5.15					
6.00	50／1			50／1	>50
6.01					
7.00	50／1			50／1	>50
7.01					
8.00	50／0			50／0	>50
8.00					
9.00	50／0			50／0	>50
9.00					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						01/18
						01/19
						01/21